

コンパルソリー 付柱YL105角J・120角J／接着・金具施工 ①

コンパルソリー 付柱 YL105角J・YL120角J／接着・金具施工

■設計施工時の注意

本製品は、外気温や日射による温度変化によって生じる長さ（寸法）の変化量が、木材やサイディング材と比較して大きいので以下の点にご注意ください。

- 必ずジョイントカバーセットをご使用ください。
- 本製品は、サイディング仕上げあるいはモルタル仕上げの上から施工することを基本としております。
- 本製品を取付け後にサイディングおよびモルタル仕上げを行うことは避けてください。
- けがをする恐れがありますので、金具取扱い時は手袋を着用ください。

※外壁と本体天端の接触部分にはシーリングが必要なため、シーリング材（変成シリコン低モジュラスタイプ）をご準備ください。

※施工後のシーリングの膨れの発生を少なくするため、素材の温度上昇がなくなる午後3時以降にシーリング作業をすることをおすすめします。

■ジョイントカバー施工要領（接着・金具施工）

※ 外壁と本体天端の接触部分には、シーリングが必要です。

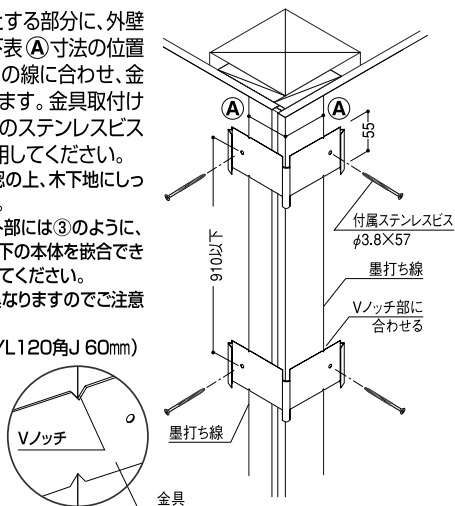
- ①付柱を取付けようとする部分に、外壁コーナー頂点より下表（A）寸法の位置に墨打ちを行い、その線に合わせ、金具（別売）を取付けます。金具取付けビスは、本体に同梱のステンレスビス（φ3.8×57）を使用してください。

※外壁下の木下地を確認の上、木下地にしっかり固定してください。

※本体どうしのジョイント部には③のように、1個の金具によって上下の本体を嵌合できるように金具を割付けてください。

※（A）寸法は、タイプで異なりますのでご注意ください。

（YL105角J 45mm・YL120角J 60mm）



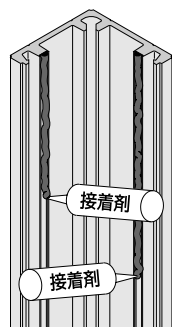
注意

- この寸法出しは、正確に行なってください。正確に行われないと施工後の温度変化による本体の長さ変化により金具から外れたり、蛇行の原因になります。
- 専用接着剤が本体表面に付いた場合は、すぐに乾いたタオルなどで拭き取ってください。

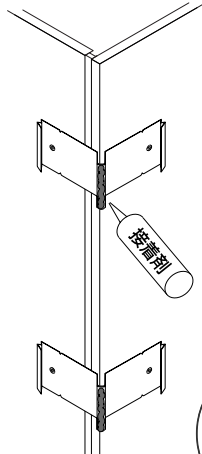
- ②本体の裏面の図示の位置ならびに金具の頂点部に専用接着剤（別売）を塗布します。塗布目安は、φ6～7としてください。

●本体裏面

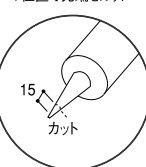
●専用金具頂点部



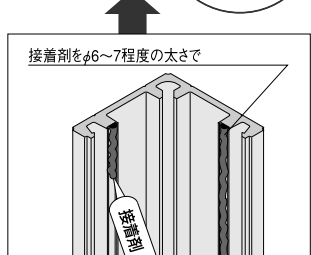
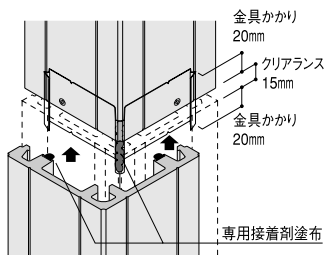
全塗布ください。



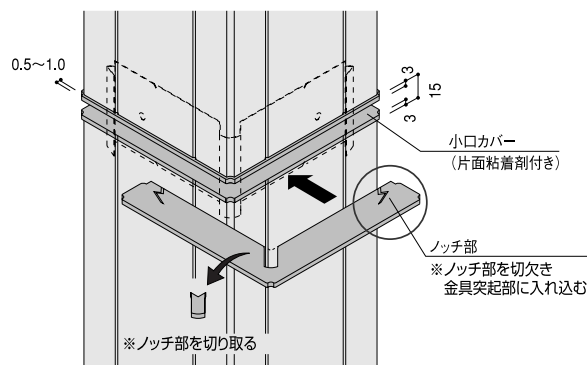
（目安）先端より15mmの位置で先端をカット



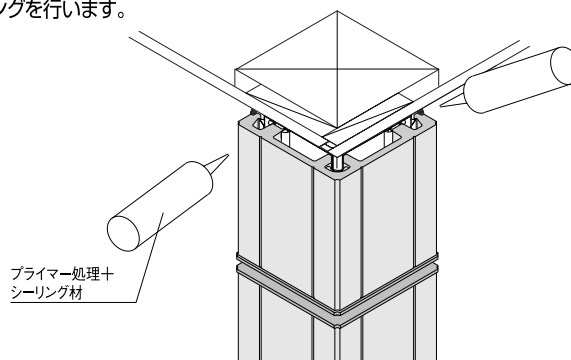
- ③ジョイント部は、1個の金具にて、上・下の本体を嵌合します。



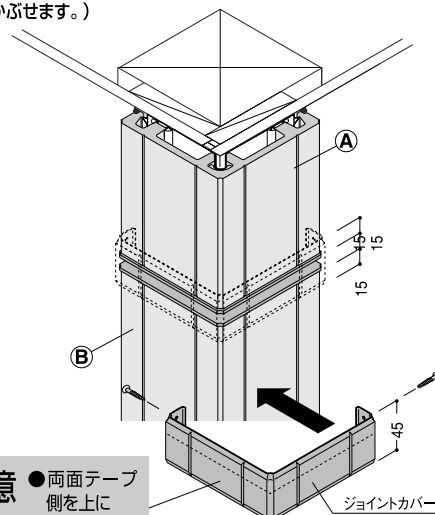
- ④ジョイントカバーセットの小口カバーをジョイント部の上下の断面に離れ紙をはがして貼付けます。小口カバーは本体表面より0.5mm～1mm程度外側に出るような状態で取付けます。



- ⑤側面（壁接触部）にプライマーをハケで塗った後、シーリング材を用いてシーリングを行います。



- ⑥ジョイントカバーセットのジョイントカバーを取付けます。ジョイントカバーの両面テープは片側のみ付いていますので、（A）（B）2本の付柱のうち（A）にのみ接着するようにし、同梱ビスにて2箇所しっかり固定します。（ジョイントカバーの巾は45mmありますので目地がジョイントカバーの中央にくるよう、（A）の付柱に15mmかぶせませう。）

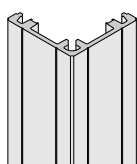


注意 ●両面テープ側を上

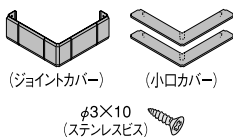
コンパルソリー 付柱YL105角J・120角J / 接着・金具施工 ②

■構成部材

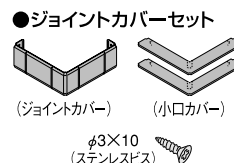
●本体



●ジョイントカバーセット

●ステンレスビス
頭部着色
(φ3.8×57)

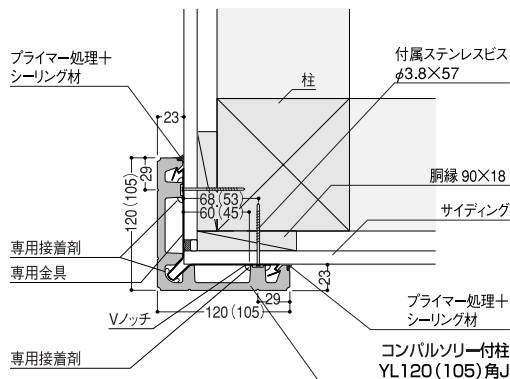
別売部材



●取付金具

■参考納まり図(接着・金具施工)

※ビス止め部は以下のように木下地を確保してください。

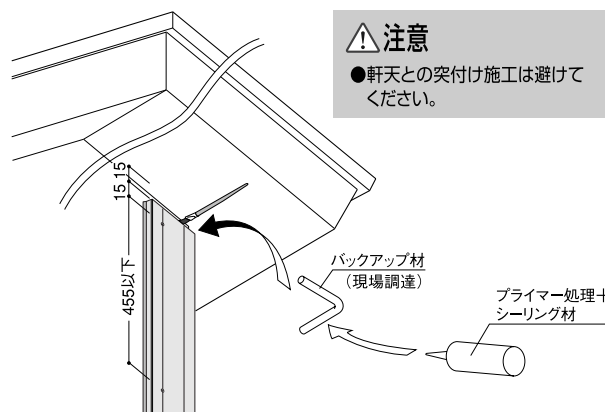


※() 寸法は、YL105角J時の寸法を示します。

※軒天部との取合い及び外壁との接触部分にはシーリングが必要なため、コンパルソリーシーラントをご準備ください。

■軒天部との取合い(接着・金具施工)

●軒天部との取合いは、左図のように15mmの目地をとりプライマー処理後シーリング処理を行ってください。(本体切断角度は軒天勾配に合わせてください。)



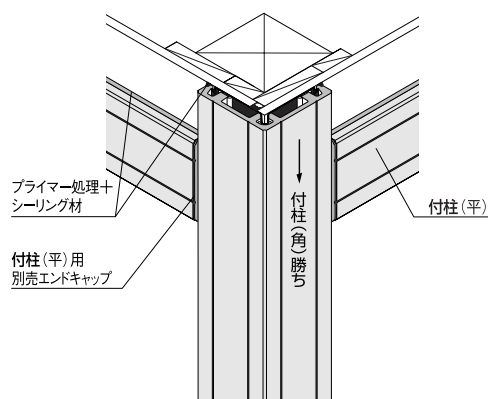
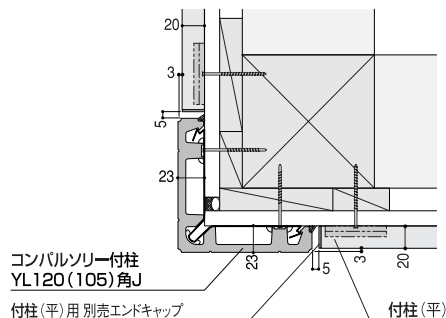
⚠ 注意

●軒天との突付け施工は避けてください。

■参考納まり図(接着・金具施工)ー付柱(角)と付柱(平)との縦・横の納まり例

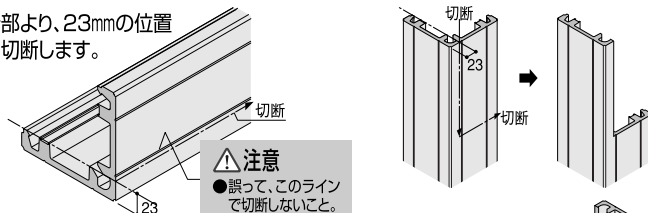
⚠ 注意 ●ビス止め部は以下のように木下地を確保してください。

※付柱(角)と付柱(平)との取合いは、角タイプが高さ23mm、平タイプが高さ20mmと角タイプを3mm高く設計しておりますので以下のように付柱(角)勝ちを基本としてください。
※付柱(平)エンドに別売エンドキャップを施し、目隠し巾5mmで納めてください。
(エンドキャップはコニシ(製)「雨どいポイント」にて接着してください。)



■部分カットの処理(接着・金具施工)

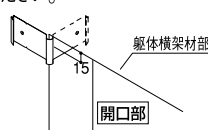
①端部より、23mmの位置で切断します。



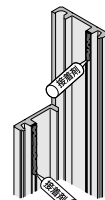
⚠ 注意

●誤って、このラインで切断しないこと。

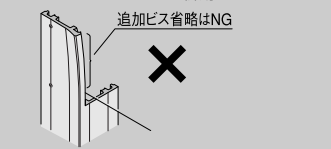
②金具の取付け可能な最端部まで、専用金具を取付けてください。



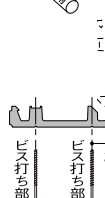
③本体裏面の指定部に専用接着剤を塗布します。



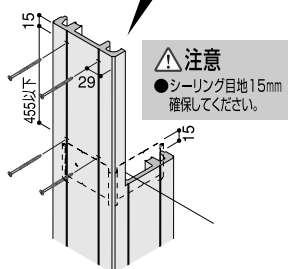
⚠ 注意 ●追加ビス打ちを省略すると、日射によりソリ、くもらいが発生します。必ずビスを併用ください。



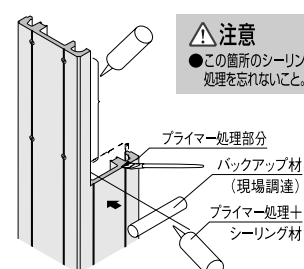
④専用金具のかけられない箇所は455mmピッチ以下でビス止めします。また、端部は、15mmの位置にビス止めください。



⑤シーリング目地は、15mmを確保しプライマー処理、シーリング処理を行ってください。



⚠ 注意 ●シーリング目地15mm確保してください。



⚠ 注意

●この箇所のシーリング処理を忘れないこと。